

1. 専門科目受講免除について

公益財団法人日本スポーツ協会と本連盟が認定する公認弓道コーチ1資格は、共通科目I（NHK学園の通信講座）の受講及び専門科目（40時間の実技）を修了することで認定されます。

本マニュアルでは、弓道指導者資格（コーチ1・コーチ2・コーチ3）の中のコーチ1資格に必要な専門科目（40時間の実技）免除について記載しております。

なお、令和3年6月現在、コーチ2資格及びコーチ3資格の免除は実施しておりません。

（1）専門科目（40時間の実技）免除修了証の交付

専門科目（40時間の実技）免除修了証は、下記条件1～3のいずれかを満たす者で、令和3年度中に課題レポートを提出し、各地連経由で専門科目免除の申請を行うことで、令和4年4月に発行となります。

※従前は本連盟主催講習会またはその伝達講習会の受講が免除条件となっておりましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会の開催が困難な状況もあり得ることから、その条件を本年度のみ特例として除外します。

条件1：錬士取得後4年以上の者（教士・範士取得者含）

条件2：五段取得後4年以上の者

条件3：学校教育法の定める教員（2段以上）で、弓道部指導者として所属長の推薦がある者

（2）課題試験（レポート）について

必ず様式6の【課題試験用原稿用紙】（400字詰原稿用紙）を活用の上、4枚以上お書きください。パソコンで作成頂きましても結構です。参考文献を使用した場合は、末尾に必ず明記してください。レポートは、地連から本連盟に申請を行う際に必要となります。レポートの提出日は各地連で設定をお願いいたします。今年度は全ての条件の方にレポートをご提出頂く必要があります。

令和3年度課題

条件1対象：指導者として自身のあるべき姿勢や心構えについてどう考えているか述べてよ。

条件2対象：弓道が人々に持続的に愛好されるのはなぜか述べてよ。

条件3対象：弓道部員が弓道で如何なることを学ぶことに期待するか述べてよ。